



「ソフトマター界面機能化学」研究グループ

Soft Matter Interface Lab. (SMIL:-)

1. 研究の概要 (<http://www.research.kobe-u.ac.jp/eng-cx6/>)

高分子や微粒子分散系に代表されるソフトマターは化粧品や電子製品などの多くの分野で使われており、日常生活においても必要不可欠な機能性材料です。本グループは主に高分子合成をベースに界面や局所場での材料創製および機能発現法の開発を追求しています。新規なソフトマター創製法の概念構築は、熱力学的な因子だけでなく速度論的な因子によっても大きく異なり、不均一系特有のコンセプトが必要となります。積極的な研究・教育活動を通じて高分子化学・界面化学を基盤に、不均一・異相（複雑）系を取り扱うことができる高い研究能力を持つ有能な人材養成を目指しています。

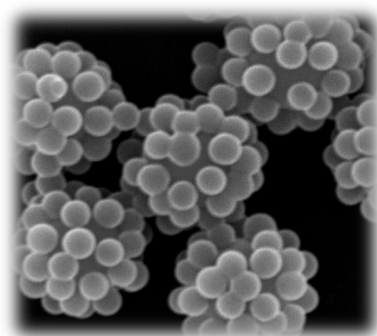
2. 構成員（平成31年4月1日予定）

教職員：南 秀人教授，鈴木登代子助教

学 生：博士課程1名（日本学術振興会特別研究員）

修士課程6名（二回生3名，一回生3名）

訪問留学生2名（中国，タイ）

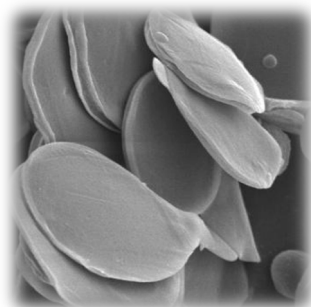


3. 最近の主な研究課題

- (1) 水素結合を利用した複合微粒子材料の合成
- (2) イオン液体を利用したセルロース異形・複合粒子とその応用
- (3) イオン液体ポリマーの特異性を利用した新規微粒子材料の創成
- (4) 単中空および多中空構造を有するカプセル微粒子の合成とその応用
- (5) 乳化重合による高分子微粒子の異相構造・異形制御とその応用的展開

4. その他

（教員より）高分子などのソフトマターの新規な創製法を提案し，新たな教育研究分野を目指しています。高いモチベーションで常に世界レベルを見据えた研究に取り組んでいます。勿論週末もやっています。高分子合成・界面化学に興味のある人，協調性があり，団体行動ができ，元気とやる気のある卒研究生との出会いを楽しみにしています。



（先輩より）社会的価値の高い研究者を目指して，毎日の実験やディスカッション，厳しいプレゼン実習や学会などを通して「研究スキル」「人間力」を，共に錬磨しましょう。一方，レジャーも充実させています。研究室イベントも年間通して盛り沢山！春から後輩と研究生活が送れることを一同楽しみにしています！どんな雰囲気の研究室か興味のある人は自然科学研究棟2号館3階304号室に見学に来てください。